広報
ふじかわ
8月号　昭和48年8月10日発行　No. 154

町のメモ

人口	48. 7. 1. 15.793人
増減	先月より　−19人
男	7.823人
女	7.970人
世帯数	3.719世帯
面積	31.09K㎡

富士川町　企画課

物価高対策に
不要品交換会

各家庭で不要となった物を持ち寄り、お互いに必要な物と交換しよう、と儘下町婦人会は七月八日、北松町公会堂で不要品交換会を開きました。

これは、最近の物価の激しい高とうに対して、ささやかながらくらしの中の消費生活を自巳防衛することを目的として行なわれました。

会場は、儘下町の主婦が約二点ていどの品物に定価をつけて持ち寄り展示。これを各自が必要に応じて安い値段で買い求める、という方法。

展示品は、こども用品、婦人、台所コーナーから、五十円均一、野菜コーナーまであり、ちょっとしたスーパー並みでした。

総出品数約二百三十点のうち、二百点が売りさばかれ大成功の交換会でした。

なお、売上げ手数料の中から一万円を部落の老人クラブに寄付しました。

南松野平清水の山砂利
東海企業が採取します

7月14日から1年間　県の採取認可おりる

南松野平清水地区の山林、畑など二万六千平方㍍を掘さくして、三十七万四千立方㍍の土石を採取することを東海企業㈱が四十五年に計画。県知事に採取認可申請を提出していましたが、今年の七月十四日に認可になり、四十九年七月十三日までの一年間、砂利採取法、町および地元対策協議会と交した副申書や要望事項に基ずいて土石を採取することになりました。

高度経済成長政策にのって、骨材の需要は増加の一途をたどっています。

しかし、一方供給面が河川砂利の枯渇で伴なわないため、必然的に山砂利に依存することになる現状です。

松野地区の山間部一帯には、由比町入山にかけて無尽蔵といわれる山砂利が埋蔵しています。

数年前から、この山砂利の宝庫に七社が殺到、地元住民に開発計画をなげかけて、現在約百七十万平方㍍の土地買収がすでに行なわれています。

一方町では、四十四年、議会に山砂利対策特別委員会を発足させて、砂利採取による自然災害、交通公害、水資源の枯渇などあらゆる方面からの影響を考慮し、山砂利採取先進地の視察、植生調査など行なって、何回かの協議をかさねてきました。

平清水地区に計画している東海企業㈱の砂利採取について、町は副申書を県に提出しました。

県では、七月十四日から砂利採取法や町の副申書に基ずいて採取することを条件に、四十九年七月十三日までの一年間、採取の認可をしました。

また、地元の対策協議会では、東海企業㈱との間に諸条件を独自で交しています。

副申書の概要は次のとおりです。

採取計画について

採取面積は二千五百平方㍍、土石の採取量は三十七万四千立方㍍以下とする。

採取はベンチカット方式階段堀とし、未買収地や町道には五㍍以上の保安距離を保ち切取り勾配は一・二割とする。最終の切取り高は矢所沢の天端より低くしない。

湧水が発生した場合はすみやかに処置する。買収地は採取後、公共用地として提供する。選別水洗は永久に行なわない。

災害防止施設

表土は地域外に搬出する降雨時に備えて人家に面したところに防護施設を行なう。現地に雨量計を備え、一時間当り三十ミリ以上の雨量になったときは水防態勢にはいる。

騒音防止上、稼動時間は厳守し夜間は操業しない。

血流川および治山、治水対策については県、町と協議する。

矢所沢の改修は採取前に行なう。

搬出・輸送計画

一日の採取量は千五百立方㍍とし、五立方㍍積載車ダンプで三百台、往復六百台以下とする。一カ月二十日以内の操業とする。

専用道路は、幅員七㍍以上とし騒音、砂じん防止につとめる。

県道富士川富沢線を利用しない地域外に搬出するときは河川敷ダンプウ回道を利用する。

完成したダンプ専用道路

芝川町で移動相談所開設

県は、移動県民相談室を八月二十四日、芝川町中央公民館で開きます。

私たちのくらしに悩みはつきものです。

国、県、市町村の役所に対する不満。家庭の中での心配ごと遺産の相続やお金にまつわる争いごと、土地問題など。

こうした悩みは、ひとりで解決できないことが多いものです。

そんなあなたに無料で「相談相手になろう」というのが、この移動県民相談室です。

秘密は厳守します。富士川町の人もお気軽にご利用ください。

生徒募集

蒲原病院附属准看護学院は、今年度も生徒を募集しています。

入学資格　昭和49年3月中学校卒業見込の者、または中学校以上の学校を卒業した者。

出願方法　准看護学院から交付を受けた所定の用紙に記入のうえ、関係書類を添えて申込む。

願書受付期間　48年11月27日から12月11日まで

願書提出および、詳細については次のところへ問合せてください。

蒲原総合病院附属准看護学院
TEL05438(5)5111

交通安全対策

各運搬車の車籍は、企業者の責任において車台に番号、または標識を書くなどして責任態勢を明確にする。

専用道路内で交通上危険なところは、安全施設を設置して安全につとめること。

補償責任体制

災害復旧および被害補償として供託金五千万円を納入する。

災害発生については企業側で全責任をもって復旧に当り、被害に対しては供託金から補償する。不足の場合は企業側の責任において支払う。

上水道水源の汚染、枯渇が生じたときは、他に水源を求める施設をつくること。採取後の補償期間は十年とし、契約書を交すこと。

その他

採取場現地に管理事務所を設け保安対策など、従業員の監督に当り責任体制を明確にする。

専用搬出道路と各道路と交差するところは立体交差にする。農免道路の取合については町と協議する。

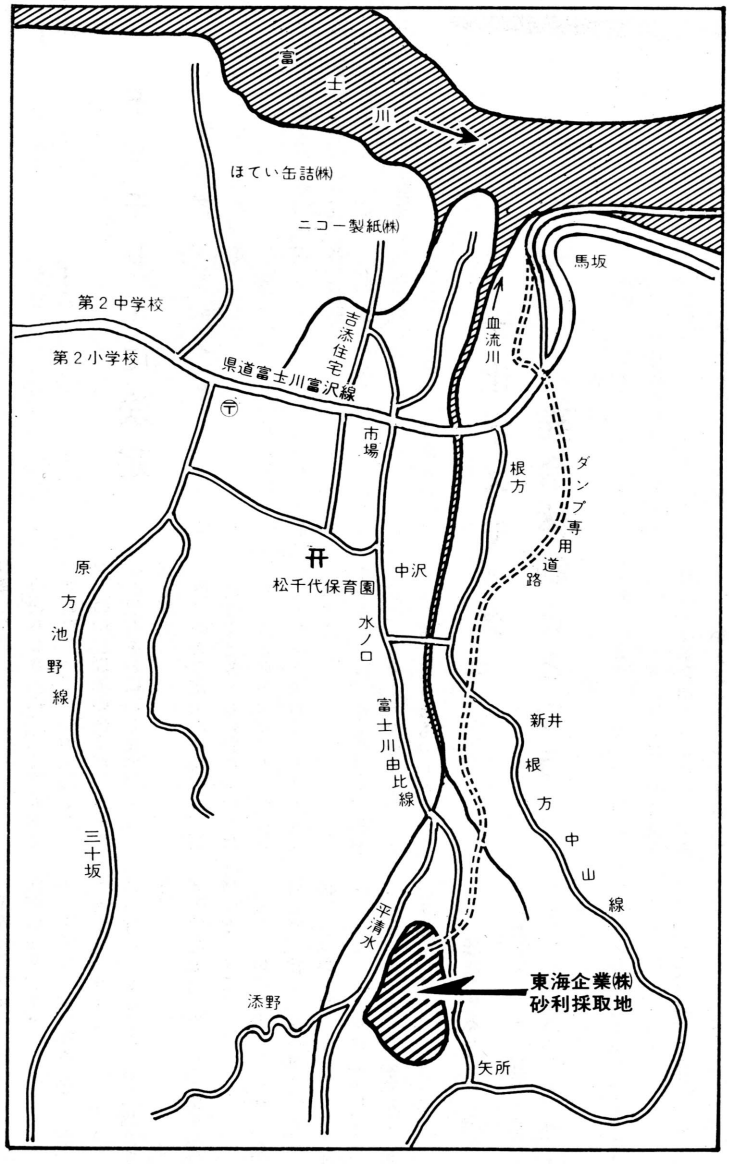
企業者は苦情の窓口をつくり、責任者を明確にしておくとともに苦情については誠意と敏速をもって処置する。

企業者は、南松野山砂利対策協議会の組織員となり、問題解決にあたる。

以上の意見のうち、確約書、誓約書、契約書に類するものは、採取前に町に提出する。

昭和四十七年五月九日、申請人と静岡県土木部長との間に交換した覚書は遵守すること

山砂利採取地位置図



若者求む

県は、来年度採用予定の警察官を募集しています。希望者で詳しいことを知りたい人は、もよりの警察署または、駐在所に問合せてください。

受験資格　十七歳から二十七歳までの者。明春大学、高校卒業見込者を含む。

受付期間　四十八年九月二十六日まで。

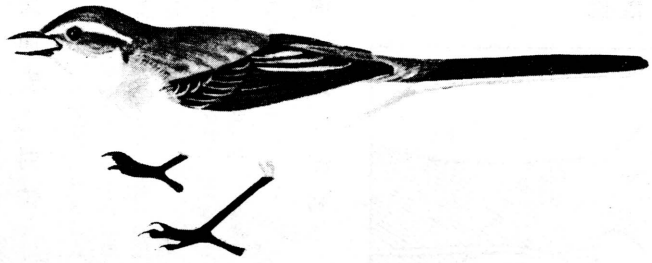
採用　四十九年四月上旬

心配ごとは気がるに
総合相談所を
ご利用ください
・8月21日（火）9時半～3時
老人福祉センター

納税メモ

町県民税第2期分の納期は
8月31日まで
納期内に納めましょう

〝町の鳥〟キセキレイに決定



七月二十六日に、「町の鳥」選定委員会が、役場の議場で開かれました。

委員十一人によって、応募の結果についての分析、鳥の棲息状況富士川町への適合性などについて慎重に審議した結果、満場一致で「キセキレイ」を町の鳥として選定しました。

応募総数が五十一通と少なく、選定にも困難を生じましたが、最終的に残った、最高点のウグイス（十三通）、次点のキセキレイ（六通）の二種類から、富士川という地域の特性に合った後者が選ばれました。

今後みなさんに、広く関心をもっていただいて、鳥の愛護と水辺などの棲息環境の保全に、積極的なご協力をお願いします。

選定理由

歴史のある富士川に棲息し、清楚な姿と愛らしい動作や鳴声は親しみと夢をはぐくむ。住みよく、生気あふれる町づくりを象徴する。

キセキレイは、水辺に多く、腹部の黄色とスマートな姿をもち、別名ちんちんどりともいわれる。

光化学スモッグ発令体制ととのう

県は、光化学スモッグの発生に対して、七月から警戒体制をとっています。

県内各所にオキシダント測定機を配置して、大気汚染測定を行ない、測定値が一時間に〇・一五PPM以上になった場合は、県民に注意を呼びかけたり、人体、農作物の被害調査や対策にのりだすことになりました。

また、光化学スモッグの発生原因である、燃料使用工場には使用料の削減。自動車の運転者に対しては必要以上の運転を見合わせるように協力を呼びかけます。

光化学スモッグは、一九四〇年にロスアンゼルスではじめて発生日本では昭和四十五年に東京でみられています。その後、大都会では毎年夏期になると多く発生するようになっています。

光化学スモッグは、夏期で気温が高く、弱い風速のとき、自動車の排気ガスなど多量の汚染物質が排出された場合に発生します。

当町は、光化学スモッグ対策実施要領によって、蒲原町役場に設置されているオキシダント測定機が〇・一三PPM以上の数値を記録し、気象条件が相当の時間この濃度を維持すると、判断したとき注意報を発令します。

①小中学校、幼、保育園に注意予報を伝達します。

②有線放送を通じて一般に周知する。

③緊急時協力工場に燃料使用量削減を要請する。

協力工場は、本州製紙㈱、野田合板㈱、富士川製紙㈱、白石工業㈱、岩渕製紙㈱、イハラケミカル㈱、ほてい缶詰㈱の七工場です。

④自動車の運転者に必要以上の走行をしないよう協力を求める。

注意すること

光化学スモッグ注意報が発令されましたら、次のことを注意しましょう。

①屋外になるべく出ないようにする。

②不必要な自動車を運転しない。

③もし、目やのどに刺激を感じたときは洗眼、うがいなどを行なう特に異常を感じたら、役場産業公害課に連絡して下さい。

望月昇氏10万円寄付

望月昇氏（宮町）は、七月二日町に十万円を寄付しました。

これは同氏の父、望月義一氏の葬儀の際の香料の中から「町行政面に役立たせてください」と寄付してくださったものです。

役場職員募集

町では、昭和四十九年四月一日採用を予定に、一般事務（技術事務を含む）職員の第一次採用試験を県町村会に委託して行ないます。

①受験資格　昭和25年4月2日から昭和30年4月1日（昭和49年度高校卒業見込みの者は昭和31年4月1日）までに生まれた者

②試験方法　教養試験（高校卒業程度）　身上調査を行ないます

③試験の日時　昭和48年10月21日（日曜日）受験者には受験場所など詳細を通知します。

④合格発表　昭和48年11月中旬ところわかります。本人には文書で通知します。

⑤受験手続　受験申込み用紙は役場総務課にありますので、必要事項を記入して提出してください。

⑥申込受付　昭和48年9月10日から9月30日まで。

⑦採用　第一次試験合格者は、町が身体検査、面接試験等を行なって決定します。

なお、詳しいことは町総務課へ問合せてください。

郡自転車のり競技

当町の児童が好成績

郡自転車乗り方コンテストが七月一日、第一小学校グランドで開かれ、チビッ子が見事な運転技術を競い団体で第二小学校Aチームが優勝しました。

このコンテストは、夏の交通事故死をなくす運動の一環として行なわれたもので、郡下六小学校の児童六十人の選手が参加。

交通規則や道路標識テストが行われたあと、約一メートル間隔に置れた木柱の間を走ったり、幅五十センチの細い板の上をできるだけゆっくり走ったりする実施試験が行われて自動車免許試験並みのきびしさでした。

それでも各校から選ばれた代表選手だけに、この難関も上手に乗りこなしていました。

この結果、団体で富士川第二小学校Aチームが見事に優勝を飾り静岡で開かれる県大会に、庵原郡の代表として出場します。

なお、これに使用した子ども用自転車五台は、交通安全協会蒲原支部から贈られたものです。

結果は次のとおりです。

団体優勝　富士川第二小Aチーム
二位　〃　Bチーム
三位　〃第一小Aチーム
個人優勝　佐野秀樹（二小）
二位　錦織昭司（〃）
三位　今井　浩（一小）

技術を技ろうする子どもたち

不自由な体で スポーツを楽しむ

第八回郡身体障害者福祉会主催の庵原地区身体障害者スポーツ大会は、七月二十二日町立体育館で開かれ、約二百人の身障者や家族が参加、体の不自由を克服して元気いっぱい熱戦を展開しました。

十二種目のゲームを、老人から子どもまでほとんどが参加して、観衆の声援のもと真剣なプレーを披ろう、家族と一諸に一日を楽しくすごしていました。

この結果、総合で蒲原町が優勝当町は二位でした。

俳句会

病棟の夜は雑語なし青葉木菟　南町　小沢吼素人

まん丸く育つ月齢月見草　大北町　天野たま

掃き寄せて落花の光ること奪ふ
蕗煮つめ忘れゐたりき身の翳り　南町　影島智子

螢火や胸に計らふ明日の結
苗代に神棲む彩の出にけり　清水町　宇佐美裕子

鶯や鍬にまつはる土柔らか
子の寝べき刻過ぎたるよ青葉木菟　南町　宇佐美幸子

帰校児の列の乱れや大夕立
大の字に寝る猫とゐて涼しけれ　南町　田辺つね子

野仏のいわれは知らず夏薊
アカシヤに夕月淡し旅の町　南町　法月幸子

夕壮丹うからに多く云ひ残し
解剖されしまま逝く壮丹盛りなり　南町　木伏八子

見せられぬ子の成積薄遠花火
払暁のはじらう芙蓉のピンクかな
喪服ぬぎ夏足袋のまま水一息に　増井冬木

夏山や水も小鳥も響き合ふ
露涼し吊橋一人づつ渡る

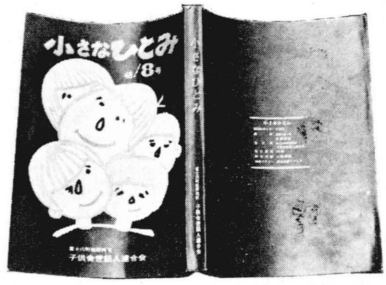
（文協理事　増井冬木記）

ガリ刷りの文集

小さな瞳　発行

松野地区子ども会世話人連合会（佐野孝治会長）は、今年も全児童から集めた作文をガリ版刷りした文集「小さなひとみ」第八号を六月一日に発行しました。

文集「小さなひとみ」は、第二小学校全児童が「おとうさん」「おかあさん」「あそび」「ゆめ」などの八種類のテーマの中から自由に選択して書いた作文を、同連合会役員三十六人が仕事の終ったあと第二小学校に集まり、先生方の指導のもと、熱心にガリ版書き印刷、製本した、百六十八ページから成る立派な本です。



刷り上った文集は、全児童の家庭に配布されました。

この文集には、子ども達の純真な生の声が書き現わされていて、親子の断絶が叫ばれている現在、家庭の中での親子の対話など、家庭教育に役立っています。

区民の親交にレクリエーション大会

区民そろって、一日を自然の中で楽しもう、と儘下クラブはレクリエーション大会を七月十五日、有無瀬川上流、荒沢不動尊付近の河原で約二百人の参加のもと、キャンプを行ないました。

日ごろ親と子、近所との話し合いが薄れがちなときだけに、この計画には儘下町区民は大喜び。

当日は、九時半にほとんどの家庭から約二百人が参加、秀村医院駐車場前を出発。荒沢不動尊の下の河原までハイキングをして現地に到着。

子どもたちは、川をせきとめて放流されたマスのつかみ取りや、宝さがしなどのゲームに無我夢中で没頭。父兄やお年寄りは、バーベキューを囲んで近隣の親交を深めたり、涼風の吹く緑の木陰で昼寝やおしゃべりなどして、一日を有意義にくつろいでいました。

戸籍の窓

48・6・20～7・19（敬称略）

おめでた

区名	出生児	保護者続柄
小山	斎藤正幸	長男
上町	鈴木雅浩	康治　〃
〃	長島香織	貞逸　三女
〃	望月夕香	正明　二女
〃	小沢哲也	清一　長男
相生町	佐藤美紀	正躬　長女
〃	西脇康世	隆三　二女
宮町	岩科英美子	義治　長女
〃	千頭和美	起七郎　〃
〃	山田竜也	健　二男
〃	三浦孝文	廣行　長男
〃	細野洋照	満　二男
旭町	北沢　究	秀夫　長男
新町	小永井宏美	一宏　三女
四十九	吉田　実	盛雄　長男
小池	平野雅樹	義次　〃
〃	伊東利晃	勇雄　三男
〃	丸山浩志	善浩　長男
幸町	門馬　航	英男　〃
東町一	望月篤子	實次　長女
〃	斎藤広美	英雄　〃
〃	望月菜穂子	源三郎　〃
東町	本原令子	常雄　長女
南町	深沢美幸	誠夫　〃
〃	深沢郁美	〃　二女
八幡町	望月啓人	孝之　長男
〃	西森貴子	共二　長女
大北町	望月昭宏	勝昭　長男
富士見町	望月真弓	三郎　長女
清水町	宇佐美裕子	安好　〃
儘下町	中川智美	久一　〃

よろこび

区名	新郎	新婦　旧姓
舟山町	花田計市	美哉子水野
幸町	虎屋静男	靖子　山本
富士見町	勝呂三平	とし江清水

おしあわせに

区名	氏名	転出先
旭町	佐々木加代	富士市
四十九	富水和恵	東京都
〃	大石清美	山口県
南町	小泉ゆき子	富士市

かなしみ

区名	氏名	年齢
旭町	渡辺小四郎	七九
宮町	湯舟文子	四八
南町	佐野幾平	八四
大北町	小沢宮子	四八
清水町	神戸高美	七八

体育館だより

■町民体力テストを実施します。（体力づくり巡回指導、県教委）
期日　9月9日（日）8時受付
会場　町立体育館、一中グランド
詳しいことは教育委員会へ問い合せてください。

■8月中は土曜日、日曜日の午後が使用できます（希望者は申込みください）

■町民剣道大会（体協剣道部）
8月12日（日）午前八時より、町内の豆剣士から有段者まで力いっぱい技を競います。

■8月から9月までのスポーツ行事
▽8月12日　町民剣道大会、松野地区子ども会球技大会
▽8月14、15日　町民野球大会
▽8月19日　中体連陸上競技会
▽8月26日　郡陸上競技大会
▽9月2日　父親ソフトボール郡大会
▽9月9日　町民体力テスト
▽9月16日　町民ソフトボール大会

■町立体育館使用について、問い合せは教育委員会へどうぞ
TEL(81)－1003